



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑧

JR東海労は夏季手当3.5ヶ月分を要求！ ユニオンはなぜ低額要求なの？

JR東海労は夏季手当（夏のボーナス）3.5ヶ月分、専任社員は+5万円を要求しました。

この間、会社が自ら主張してきた「安定的支給ベース（夏2.7ヶ月、冬2.9ヶ月）」があるにも関わらず、赤字を理由に安定的支給ベースすら守りませんでした。黒字の間は、この主張で期末手当を低額に抑えてきました。昨年の期末手当は、黒字でしたが、安定的支給ベースに届かない2.7ヶ月分でした。

黒字基調に回復したのは、コロナ禍で落ち込んだ旅客需要が回復したことによりますが、社員のがんばりがあってこそだといえます。様々な賃金や手当の改善は勿論、この間、約束を反故にされ低額回答に耐え忍んできた社員に、会社として様々な形で報いるべきです。それこそ、大幅減額の分の回復が必要ではありませんか。

JR東海労は、組合員・社員の努力に報いる要求として、この間3.5ヶ月分の要求を引き下げることなく続けてきました。なぜなら、会社は無謀なリニア建設を中止もせず、社員に負担をかけ続けているからです。

JR東海ユニオン組合員の皆さん、自分が加入している組合の要求並びに根拠を知っていますか？ぜひ、お近くの役員に聞いてみて下さい。答えにビックリしますよ。要求に不満なら、役員に一言文句を言いましょう。